

サイボク温泉の市民優待パス

「日高市民健康づくり包括的連携協定」に基づき、サイボク内にある温泉施設「花鳥風月」で利用できる「市民優待パス」を発行しています。

優待内容(入館料・平日限定)

- 大人(中学生以上) 700円
- 小人(3歳~小学生) 550円

申請方法 本人が日高市民であることを確認できるものをお持ちの上、左記へ

申請場所 保険年金課(1階③番窓口)、保健相談センター、各公民館、文化体育館「ひだかアリーナ」
※現在市民パスポートをお持ちの人は、入館時に更新します。

11月は「はじめ撲滅強調月間」

はじめを受けていたり、はじめに気が付いたりしたら、一人で悩まず相談・通報してください。

よい子の電話教育相談(県立総合教育センター)

相談内容 いじめ、不登校、学校生活(毎日24時間)

○18歳以下の子ども用(無料)

☎#73000

☎0120-86-3192

○保護者用

☎048-556-0874

○メール相談 jsoudan@spec.ed.jp

※メール相談の受信確認・返信は平日

飯能警察署からのお知らせ

警察官や弁護士等を名乗って、「息子さん(娘さん)が逮捕された」「示談金が必要」等の特殊詐欺の電話が多数掛かってきています。振り込め詐欺の最大の防犯対策は、「犯人と話さない」ことです。

問い合わせ 飯能警察署生活安全課

☎972-0110

「障がい者用駐車場」は、必要な人のために空けておきましょう

障がい者用駐車場とは、車椅子使用者や体の不自由な高齢者、障がい者など、車の乗り降りや移動に配慮が必要な人のための幅の広い駐車区画のことです。必要がない人は駐車しないよう、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

マナーアップキャンペーン強調期間

期間 12月9日(金)まで

商業施設等における啓発ポスターの掲示や、店内放送での呼び掛けなどの取り組みを実施します。

問い合わせ 県福祉政策課

☎048-830-3391



募集



市民農園利用者を募集します

利用期間 令和5年4月1日~8年3月31日(3年間)

午前9時から午後5時までです。
問い合わせ 県青少年課
☎048-830-2907

「誰かを支えるあなたも支える」11月はケアラー月間

ケアラーとは、家族などの身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話や援助をしている人です。社会においては「家族が介護するのは当たり前」といった考え方が根強く存在しています。そのため、ケアラーが孤立し、悩みを周囲に相談できない状況となっています。ケアラーが孤立することのないように、誰もがケアラー支援の必要性などを理解し、社会全体で見守り、支えていくことが必要です。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。
問い合わせ 県地域包括ケア課
☎048-830-3256



やっぱり、家族っていいね

子どもを家族が育み、家族を地域社会が支えることの大切さについて理解を深めてもらうために、11月第3日曜日を「家族の日」、11月第2日曜日から第4日曜日の前日までを「家族の週間」としています。

家族の日 11月20日(日)
家族の週間 11月13日(日)~26日(土)
問い合わせ 子育て応援課子育て応援担当(1階⑥番窓口)

場所(区画面積約35㊦)

- 巾着田市民農園 43区画
- 中鹿山市民農園 35区画
- 南平沢市民農園 42区画

対象 市内在住で適正に農地を管理できるとする人

利用料 年間3000円

応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、希望農園を明記し、12月23日(金)(必着)までに、郵送で左記へ

※1世帯につき1区画の応募とします。
決定方法 定員を超えた場合、地区別に抽選

※抽選結果は後日通知します。
問い合わせ 産業振興課農政担当



入間第二用土地改良区職員募集

募集期間 11月15日(火)まで
募集人数 1人

応募資格 20歳以上25歳未満の普通自動車免許を取得している人

採用時期 令和5年4月1日
申し込み 履歴書、エントリーシートを直接左記へ

問い合わせ 入間第二用土地改良区
〒357-0021 飯能市大字双柳353
☎972-9100

シリーズ「どうする? 「空き家」

~我が家を困った空き家にしないために~



問い合わせ 都市計画課計画推進・企業誘致・住宅政策担当

第10回「日頃からの地域の繋がりを」

日高市空家等対策協議会委員

日高市区長会長 坂巻景子

今回のテーマでは、住民の立場から感じる考えを書かせていただきます。

ある日、突然近隣の人が引っ越しをした。高齢者が施設に入所したりして空き家になってしまったら…。

家は手入れをしないと傷み、庭があれば草木が生い茂り、虫の発生・野生動物がすみつく等衛生・防犯面でよくないことは知られています。

例えば、ごみ捨て時に顔を合わせたらあいさつをする程度の付き合いでも、日頃から声を掛け合うようにすると「空き家に至った原因・事情」が分かることもあるでしょう。

「自宅を空き家にしないためにはどうすれば良いか？」を井戸端会議でもあまり聞かない気がします。空き家に至る原因にあまり良いものがないからかもしれない。デリケートな問題こそ自治会等身近なコミュニティで、「元気なうちに空き家予防対策」など啓発推進していくことは有効だと思います。

実際に自治会とNPO団体が協力して住民同士が空き家対策に取り組んでいる地域も存在します。そのような地域では、人に住み続けてもらうためのまちづくりにも積極的です。

「空き家になってから気に掛ける」のではなく、「空き家をつくらない、人が住み続けられるようなまちづくり・ひとの繋がりを気に掛ける」ことができる地域が理想ではないでしょうか。近隣に適度に興味を持ち、身近なコミュニティへの負担にならない程度の参加、高齢者への気配り等、一人一人のできる日頃の繋がりはたくさんあります。

「優しい繋がりのある地域」は、「空き家をなくしていける地域」ではないかと思います。

イベント



今月の市役所マルシエ2022

日時 11月30日(火) 午前10時~午後2時(売り切れ次第終了)

場所 市庁舎玄関

※マイバッグをお持ちください。

販売品目や日時の変更等は、市ホームページ、市公式LINEでお知らせします。

問い合わせ 産業振興課農政担当

ひだかネイチャーキッズ冬の日和田山

日和田山で樹木や生き物の観察、高麗郷古民家でカレー作りや工作、ゲームを行い、日高の自然について学びます。

日時 12月3日(土) 午前9時~午後3時30分まで

場所 高麗郷古民家、日和田山

対象 市内在住の小学4年生~6年生

人数 20人(定員を超えた場合は抽選)

費用 500円

持ち物等 水筒、筆記用具、ハンカチ

申し込み 11月10日(休)まで

に電話または直接左記へ

問い合わせ 環境課生活環境担当



いろいろな土器の模様展

日高市で出土した土器に残された、



ミニギャラリー情報(文化体育館「ひだかアリーナ」内)

ダイアプラン環境ポスター展示

期間 11月15日(火)まで

問い合わせ 環境課生活環境担当

美術作品等の展示ができます

2週間を限度に無料で展示できます。申し込み方法など、詳しくは左記へお問い合わせください。

問い合わせ 生涯学習課生涯学習担当

むせいの会「おはなまつり」

子ども対象のおはなし会です。

日時 11月13日・27日の日曜日

午前10時30分から

場所 生涯学習センター

内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居

費用 無料

申し込み 不要(直接会場へ)

問い合わせ 市立図書館

☎985-5121